

2010 年度日本学生オリエンテーリング選手権 個人ロング・ディスタンス競技部門再競技 要項 1・2



発行日：2010 年 12 月 24 日

発行者：2010 年度日本学生オリエンテーリング選手権大会ロング・ディスタンス競技部門再競技実行委員会

発行責任者：山川克則

2011 年 2 月 5 日(土)

開催日

会場

主催

主管

後援

協力

実行委員長

運営責任者

イベントアドバイザー

ホテルファミテック（栃木県日光市）

日本学生オリエンテーリング連盟

2010 年度日本学生オリエンテーリング選手権大会ロング・ディスタンス競技部門再競技実行委員会

日光市・日光市教育委員会・栃木県オリエンテーリング協会（いずれも申請中）

ホテルファミテック

山川克則（日本学生オリエンテーリング連盟副会長・東京大学 1979 年入学）

※コースプランナー・競技責任者兼任（但し競技責任者は変更の可能性有）

宮崎大地（関東学生オリエンテーリング連盟幹事長、東京工業大学 3 年）

大西康平（京都大学 2003 年入学、インカレロング 2010 より引き続き就任）

実行委員長挨拶

私のインカレへの関わりは大学 2 年の 22 歳の時から 52 歳の今まですでに 31 年もの期間になっています。その間不成立を間際に食い止めたことは何度かありました。今回のように地元の方からの申出などです。長くやっているとこういうこともいつかはあるのだろうな、と思っていました。

出走できなかった選手もそれは悔しかったです。あの急斜面をあれだけの地図・コースに仕上げた苦労の最前線に立った者として、私にとってもそれはそれは悔しいものでした。2 年間かけてずっと準備に奔走してきた大阪オリエンテーリングクラブや関西学生 OB の皆さんも勿論同じ気持ちでしょう。

思えば私のインカレへの関わりも、インカレが開催されないかもしれない、というところから始まりました。今回の再競技開催の議論では、あの時さんざん議論した“学生主体のインカレ”を思い起こさせるものがありました。学生の議論の中でも 3 割 5 分ほどは再競技には反対で、渉外問題での不成立はそのことをそのまま受け入れよう、というものだったと聞いております。その上で組織として学連が再競技を開催すると決定したのは、インカレへの色んな人の（悔しい）思いが結集したものであり、決定したからにはフルタイムのオリエンテーリング事業者として私にしかできないことは力を尽くそうというスタンスで準備に関わることにしました。代替手段ではありますが、精一

杯インカレらしいものを提供していきたいと思います。

インカレロング 2010 再競技 実行委員長 山川克則

幹事長挨拶

奈良でのインカレロングの不成立の直後から、それに關して多くの人の意見を募り、多くの議論を幹事会で重ねてきました。そして、春インカレとの兼ね合いや渉外問題を考慮すると再競技を行うとしたら 2 月 5 日のこの場所（日光）が最良であり、それがインカレロングとして開催するに足ると判断した結果、インカレロングの再競技が行われることになりました。まずはこの決定までに協力していただいた皆様に御礼を申し上げたいと思います。

今回は運営に多くの学生が関わるようになっており、学生主体と言う意味ではこれまでのどのインカレよりも、「インカレらしい」インカレになると信じて疑いません。そして、それにこたえる意味でも、奈良でのインカレを越える盛り上がりを見せるような大会を全員で創り出し、今年度のロング学生選手権者および入賞者、さらには来年度のインカレロングの枠配分を改めて決定しましょう！ 今度は日光の地で、奈良と同じメンバーで集えることを楽しみにしています。

日本学生オリエンテーリング連盟幹事長 齋藤翔太

クラスと参加資格・スタート時刻

本大会では、インカレロング 2010 にて不成立となった選手権クラスのみ再開催致します。本競技会でのスタート間隔は1分になります。(大会スケジュールの関係)

クラス/コース距離/登距離/優勝設定時間/スタート時刻/競技時間
男子個人(ME)/10.7km/420m/80分/11:36~12:35/150分
女子個人(WE)/7.3km/240m/65分/11:56~12:35/150分
(コース距離/登距離は予定)

※出場者は、奈良県で2010年11月21日開催されたインカレロング出場者としてします。スタートの並び順も奈良県でのインカレロングと同じものが適用されます。ただし、何らかの事情で出場できない者が出た場合、各学連は欠員補充をすることができます。詳しくは各地区学連代表の指示に従ってください。

表彰対象

男女各6位までを表彰致します。

(ただし授与するメダルの日付は2010年11月21日)
新人特別表彰は本競技会では行いません。(11月21日のレースで表彰済)

チームオフィシャル

参加校はチームオフィシャルに参加させることができます。各校に認められるチームオフィシャルの人数は、以下の通りです。

- ・男子クラスの選手登録に対して2名まで
 - ・女子クラスの選手登録に対して2名まで
- 合計最大4名まで。

- チームオフィシャルには以下の特典が与えられます。
- ・選手権の部スタート地区での選手のサポートが可能です。送迎バス乗車も可能です。若干の許可車には車でのスタート待機所への乗りつけも許可します。(荷物の輸送等ご協力下さい)
 - ・2月5日(土)の競技終了後、選手権の地図をME、WE各1枚、合計2枚を各チームオフィシャルに配布します。
 - ・2月5日(土)午後のミニ合宿へ参加可能(追加料金不要)

チャレンジクラス

本イベントでは一般者を対象としたチャレンジコースを開設します。これは急に再競技を行うことになった本イベントを資金的に援助していただくことを目的としたチャリティコースです。一般の大会より参加費は高めに設定されていますが、その点ご理解いただきたいと思います。

コースは男子学生選手権、女子学生選手権と同じコースを提供し、どちらのコースも性別・年齢を問わず参加できます(一般学生も参加可能です)。スタートはインカレ競技者の後になりますが、若干数インカレ選手権選手より早いスタート時刻で競技いただく方も募集します。申込の際に備考欄に前で走っても構わないという方は申し出下さい。ME95分以内、WE80分以内で確実に走破出来るような方に改めて主催者側から連絡差し上げます。

尚、競技中トレイン内を貫くそれなりの交通量がある2車線道路を横断する際、インカレ競技中は安全管理の役員が付きますが、チャレンジクラスのかたは自己責任で横断していただきます。

インカレ選手権選手より早くスタートいただく方は、午後のミニ合宿メニューには確実に参加できるスケジュールになります。(追加料金不要) インカレ選手権選手より遅くスタートいただく方はミニ合宿メニューへの参加は時間的に難しいです。

採用するパンチングシステム

EMIT社製パンチングシステム(E-card)を使用します。マイカードの使用を認めます。エントリーの際に申告してください。

カードをレンタルする場合のレンタル料金は300円です。

前日練習会に関する情報(2月4日金曜日)

本競技会のモデルイベントは開催しませんが、申込用紙による調査の結果、希望者多数の場合は、前日練習会を開設します。

0-map「日光和泉」内部の立入制限されていない区域を利用して、フラッグをつけない自由練習の機会とします。希望者は申込の際にエントリーフォーム内にて申告して下さい。

ミニ合宿(2月5日午後)に関する情報

本競技会は、通常この時期に行われている学連合宿(インカレミドル&リレー対策)に替えて行っています。そこで選手権クラスに出場しない応援の人にも、オリエンタリングの研鑽の機会を設け、本来の目的であるミニ合宿メニューをインカレ再競技終了後に時間短縮・内容圧縮して行います。

またミニ合宿の中で新人クラス模擬レースを行います。
(開設時間予定:14:40~16:40)

ミニ合宿メニュー内容

- (1)インカレミドル新人クラス模擬レース
参加する全員がまずこのメニューから始めます。
自由スタート
計時あり(新人だと判るカテゴリを付与)
会場近くでスタート、フィニッシュはロングと共通
(2011年3月に開催されるインカレミドルMUFコース3.5kmアップ110mこれに順ずるものを用意)
- (2)1.5kmくらいのコントロールピッキング
アタックの正確さ、地図読み精度、ルックアップのチェック。
スタートはトレイン適地まで行くので、それなりに離れる。
フィニッシュコントロールもトレイン適地で終わるのでそこでパンチングフィニッシュ
計時は一応する 会場で読み取り。
- (3)2km位のミニファシユタ1本
計時なし
折角の機会だから、大学横断的に、ライバル関係仲よし関係で出来るだけ効果的なメンバーを募って、いつもの合宿よりメンバー増やして行うとよいだろう。

選手権クラス再競技出場者およびチームオフィシャル・チャレンジクラス参加者は、もれなくこのイベントにも参加することが出来ます。改めて申し込む必要はありません。

合宿セミナー(2月5日夜)に関する情報

主催:日本学生オリエンタリング連盟技術委員会

会場:ホテルファミテック卓球場

時間:2月5日 19:30~21:30 参加費無料・入場自由

テーマ:インカレロング再競技のレース解説・インカレミドル&リレーへむけての対策など

本セミナーは、通常行われている学連合宿の夜メニューをそのまま通常通り行う、というものです。ファミテック宿泊者以外の方も参加できます。本セミナーは参加費無料、入場自由ですが、希望者は申込の際に この部分の項目に申告して下さい。

アクセス情報

自家用車

東北自動車道「鹿沼インター」より、例幣使街道を北上約40分

もしくは日光宇都宮道路「大沢インター」より約10分。

公共交通機関

東武鉄道「下今市」駅下車 もしくはJR日光線「今市」駅下車

東武鉄道「下今市」9:04着快速（浅草7:10発）にあわせて会場行き送迎バスが出ます。（追加料金不要）

駐車場に関する情報

会場および付近の何箇所かに分散して駐車していただくことになります。申込台数の申告に従って大学ごと・チャレンジクラス一般申込者ごとに駐車場所を指定します。駐車台数が限られていますので、関東の大学の方はなるべく公共交通機関を利用して来場してください（下今市駅より送迎バスが出ます）。駐車場希望台数はできる限り正確に申込書に記入下さい。

宿泊に関する情報

会場であるホテルファミテックに前日（2月4日（金）夜）及び当日（2月5日（土）夜）に宿泊することができます。

1泊2食 特別料金4,500円 ※食事はバイキング形式

多数の皆様の申し込みをお待ちしています。

宿泊希望人数が収容人数を上回った場合には実行委員側で調整を行う予定です。ファミテックへの宿泊名簿作成は実行委員会ですべて取り扱います。希望者はエントリーシートに記入してください。**直接個別に申し込まないようお願いいたします。**

2月4日（金）夜、2月5日（土）夜それぞれに宿泊希望の有無を入力して下さい。来場の交通手段などを考慮した上で、実行委員会側で宿泊者を決定します。また、大学独自で別の宿舎を確保した場合はその情報を、エントリー担当者へすぐに伝えるようにして下さい。皆さまのご理解とご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

今回のインカレロング再競技開催では、急な日程にも関わらず会場・宿泊施設の割引提供、送迎などホテルファミテックから多くの便宜を図って頂いており、ホテルファミテックのご協力なくしては成り立ちません。これらのご厚意に宿泊を満室（180名）にすることで応えたいと思います。

2月5日（土）夜にはホテルファミテックにて合宿セミナーが開催されます。翌2月6日（日）には同じ会場にて山リハリレー大会が開催されます。

Q：割り振りにもれた場合は？

A：他宿泊施設への切り替えに支障がないよう、1月13日までにご連絡差し上げます。

Q：自分たちで確保していた別宿からファミテックを満室にするために、それをキャンセルして移動させられることもありますか？

A：そういうお願いを実行委員会側からすることもありますが、早期のキャンセルでは損害金を支払わなくて済むように事前にちゃんと確認をしておいて下さい。

Q：1/6までに出場が確定できない選手権クラスの者がいます。

A：まずは希望で暫定的にお申込下さい。出場ができなくなった場合は（入金済みの1/20までに判明していることが望ましい）なるべく早く地区学連担当者と連絡をとり、欠員の補充手続きをして下さい。地元準備の関係上（参加全員の宿泊地のあて、駐車場確保等）この日までに一旦参加に関する情報が必要ですのでご協力とご理解をお願いします。

Q：宿泊料金の支払いは？

A：大会当日、実行委員会担当者が申し受けます。大会へのエントリー料とは別に支払っていただきます。

参加費

選手権クラス(ME,WE)	3000円
チームオフィシャル	2500円
チャレンジクラス(MEC.WEC)一般	5000円
チャレンジクラス(MEC.WEC)現役学生	3500円
ミニ合宿メニューのみ参加	1000円
e-card レンタル	300円

エントリー方法

- (1) 参加校（およびチャレンジ参加個人申込者）は、大会webサイトより、エントリーシート（Excelファイル）を入手してください。
- (2) 参加校（およびチャレンジ参加個人申込者）は、エントリーシートに必要な事項を記入し、申込先まで提出してください。（エントリーシートのエクセルファイルを添付したメール送信）題名は「インカレロング再競技申込」として下さい。
- (3) 参加校（およびチャレンジ参加個人申込者）は、エントリーシートに表示された参加費合計金額に従って、指定の銀行口座に振り込んでください。（2と3の間に今回はタイムラグがあります。後述の説明をよく読んで下さい）
- (4) 指定口座への入金確認をもって、エントリー完了とします。

エントリー先

実行委員会エントリー窓口：井戸美菜

<spc68xk9●pony.ocn.ne.jp> ●=アットマーク

振込先口座

みずほ銀行高田馬場支店 普通1486997 日本学生OL連盟

※振込み費用は各参加校の負担となります。領収書は各銀行口座より発行される振込み票をもって代えさせていただきます。

エントリー締切 2011年1月6日(木)

エントリー料入金締切 2011年1月20日(木)

※募集要項公示からエントリー締切が早いですが、ご協力をお願い致します。急遽開催決定した関係で、地元準備のために少しでも早く申込者の情勢を知る必要があるための措置です。

入金済切までの期間にて、欠場者の調整など若干の変更を受け付けたのち、最終的な参加費が確定してから入金していただく形をとります。1月6日から1月20日の間は各学校の申込担当者と受付担当実行委員間で、会場のファミテックへの宿泊の可否など頻りに内容確認のメールが行き交うことになると思います。

ホテルファミテックの宿泊料はエントリー料金と一緒に支払わないようご注意ください。宿泊当日に申し受けます。

観戦者のための情報

本大会の観戦は自由とします。観戦者はプログラム（要項3）に従って観戦して下さい。但し、観戦のみの方の駐車場は用意できませんので自家用車以外の交通手段で来場下さい。また大会日夜（2月5日夜）にホテルファミテックへの宿泊もお受けできません。前述のように選手権再競技の間は応援、午後のミニ合宿に参加という申込には宿泊も駐車場申込も受付ます。

地図に関する情報

縮尺 1:15,000 等高線間隔 5m

走行可能度表示 4段階 JSOM2007 準拠 ポリ袋入り

「日光和泉（日光口）」と「日光例幣使街道」を合体した地図を使用します。両地図間の空白地帯は新規に地図を作成します。空白地帯の過去に作成された地図を下記に掲載しています。「日光和泉（日光口）」と「日光例幣使街道」に関しては、広く流通していると判断し掲載しません。必要な方は、過去のインカレ web を参照するか、先輩から見せてもらって下さい。

※ 地図のサイズは、プログラム（要項3）においても公開しません。

※ 2月5日午後に行われるミニ合宿の地図 縮尺 1:10,000 等高線間隔 5m

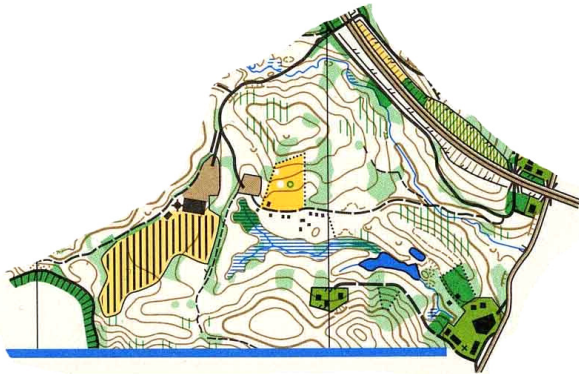


図1：空白区域の旧マップ「日光口磐裂の霊水」（日本学連 2000 年作成）

トレイン・コースの概要

トレインは、標高350～450mの比較的なだらかな尾根と浸食された急斜面の沢からなっている。浸食された水系には所々微地形もみられる。植生は全体的に針葉樹林が広がっており走行可能度はおおむねよいが、一部藪で覆われた箇所が存在する。林業が盛んなため一部伐採された箇所があり、トレイン内に小道・小径・植生界が多い。

トレイン内には中央に高速道路が東西に縦断しており、ある程度交通量のある道路が南北に横断している。

コースは分断されたブロックで構成されるトレインの特性上、ロング競技にはお決まりのロングレッグはないが、そのかわりある程度の距離のあるルートチョイスに悩むレッグを多数立て続けに用意することで代用している。急斜面を使用する場面は少なく、全体的にずっとハイスピードを維持しながら、時として細かいナビゲーション能力を要求するコースとなっている。

スタート待機所は和泉公民館（栃木県日光市）の予定である。スタート待機所（和泉公民館）からスタート地区へはストリーマ誘導に従って徒歩で移動する。会場（ホテルファミテック）からスタート待機所（和泉公民館）へは主催者の用意するバスにて輸送する。

競技者が二度、会場内に居る観戦者の視界に触れる機会がある。観戦者が応援できる機会が多い。

立入制限(クローズ)区域

本大会に参加を予定している者は、オリエンテーリングを目的として、以下に示す区域への立入を本大会開催まで禁止します。（議論途中の12/5より発効中、本年8月に合宿で使用実績があり、それ以降当該範囲は、12/19の関東ミドルセレ以外では使用されない）但し、日光宇都宮道路、南北に貫く県道小来川線の通行は妨げません。

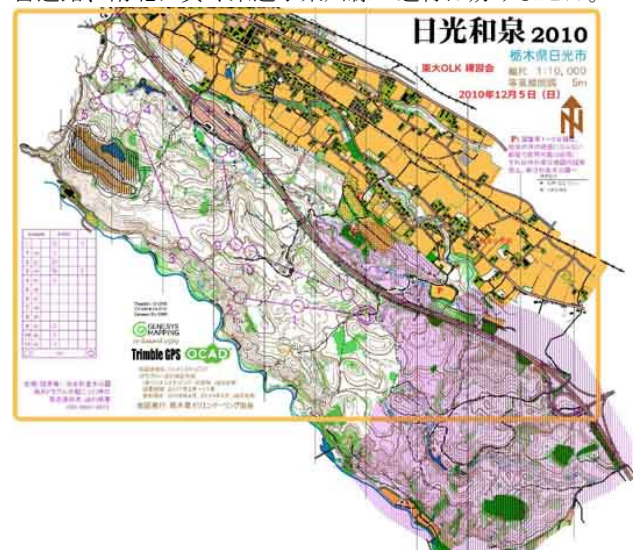


図2：O-MAP「日光和泉」の東側約2/5がクローズ
西側は練習で使用可能です。



特記事項

- 本競技会では、いままでのインカレでは加入していた傷害保険には加入しません。怪我などの場合の治療費を保険で補填しません。心配な方は自分で保険に入っておくようお願いします。
- “地図”のところで触れたように、「日光和泉（日光口）」と「日光例幣使街道」のトレイン間にはある程度交通量のある2車線道路があります。誘導区間でこの道路を横断します。役員の指示に従って安全に注意して横断して下さい。チャレンジクラス競技時間には役員を置かない予定です。チャレンジクラス参加のかたは自己責任において安全に注意して横断して下さい。

2月6日(日)山リハリレー大会案内

例年、この時期に学連合宿と連続して開催している、インカレリレーのリハーサルを目的とした大会を例年通り開催します。前年まで「関東リレー」と呼称していた大会を、企画者の会社形態・会社運営理念を変更したことにより、新たな呼称に変えました。「リハ」とはリハーサルの短縮言葉で、まさに目的そのもの、この大会を23年前に始めた初心に帰って提供していくことを意味しています。同時に関東インカレ団体戦も例年通り併設です（今年から何チームでも選手権クラスに出場可能になりました！）。

ロング再レースが終了後はミニ合宿に夜メニュー、そして翌日の山リハリレーと早速春インカレの方に切り替えて準備を進めていきましょう。急な再競技開催ということで、財布の負担を少しだけでも軽減するため、今回に限り全クラス昨年よりチームあたり千円値下げをして開催致します。会場は同じくホテルファミテックです。

インカレ再競技とは別申込になります。〆切は2011年1月20日です。詳しい大会案内は

<http://www.orienteering.com/~ymoe/>

からリンクをたどって下さい（開設は1月4日頃です）

■問い合わせ

大会全般に関して

実行委員長 山川克則

<rho-s.yamakawa●nifty.com> ●=アットマーク

電話 090-8041-4673

出来る限りメールでお願いします

申込に関して

エントリー担当 井戸美菜

<spc68xk9●pony.ocn.ne.jp> ●=アットマーク

電話 090-7954-6052

出来る限りメールでお願いします

どちらに送ってよいかわからないときは両方に送信して下さい。

プログラム(要項3)について

本来のインカレで行っているプログラム冊子の発行は、今回は行いません。Web上での公開となります。スケジュールは以下を予定しています。

2011年1月22日

選手権スタートリスト及びチームオフィシャル、ミニ合宿参加者リストの公開

※公開後、各学校の申込担当者は間違いが無いかどうか確認をお願いします。

2011年1月29日

要項3（プログラムの公開）

尚、この時期インカレwebマスターが海外出張中のため、インカレwebにはあらかじめリンクを貼っておき、日本学連web (<http://www.orienteering.com/%7Euofj/>) の方に掲載致します。

参考情報

以下に団体向けの近隣の格安宿を紹介します。

- ・日光交流促進センター（前：日光ユース）
<http://www.nikko-kazenohibiki.com/>
- ・日光杉並木ユースホテル
<http://www.nikko-suginamiki.com/>
- ・日光大谷川ユース [Tel:0288-54-1974](tel:0288-54-1974)
- ・今市青少年スポーツセンター
http://www.tochigi-sports.jp/ts_shisetu100.html
- ・旅籠屋日光鬼怒川店
<http://www.hatagoya.co.jp/Kinugawa/index.html>

他にも日光にはいろんな宿泊施設があります。各自調べてみてください。

以上